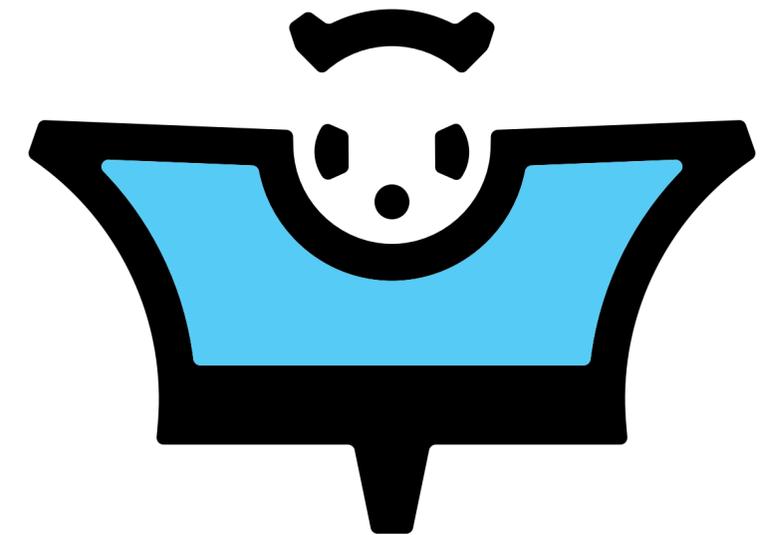


空知地区サッカー協会審判委員会

2024年 活動報告

チェンジ



SORACHI

**REFEREE
COMMITTEE**

2024年 活動報告

審判委員会では2024年をチェンジの年として時代の変化に沿った形で審判員の育成と強化、委員会スタッフの強化を進めてまいりました。

- ・ 各更新・認定講習会の開催
- ・ 審判員派遣活
- ・ 日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会への審判員とスタッフ派遣
- ・ 審判員育成と強化
- ・ 委員会活動の情報発信（審判委員会News letter）
- ・ 審判員育成事業に係る協賛金の募集
- ・ 新たなるサッカー上級審判員誕生へ向けて取り組み

各講習会・研修会の開催

空知地区登録審判員の更新講習会

- サッカー4級審判員更新講習会 2025年3月2日・16日
- サッカー3級審判員更新講習会 2025年3月2日・16日
- サッカー2級審判員更新講習会 2025年3月2日・16日
- フットサル4級審判員更新講習会 2025年2月9日
- フットサル3級審判員更新講習会 2025年1月26日・2月9日
- フットサル2級審判員更新講習会 2025年1月26日・2月9日

認定講習会

- サッカー4級審判員認定講習会 2024年4月14日
- フットサル4級審判員認定講習会 2024年10月26日

サッカー・フットサル3級審判員認定講習会（実技試験）

受講希望者なし

審判員派遣事業

空知地区で行われる各大会への審判員派遣



日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会への派遣

空知地区で行われた日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会グループステージへ審判員と委員会スタッフを派遣しました。

初の全国大会開催ということもあり、前年度まで開催されていた十勝地区サッカー協会審判委員会より情報提供をいただき、また（公財）北海道サッカー協会審判委員会のご協力により予定されていた試合を無事に終えることが出来ました。

暑い中、稼働いただいた審判員と委員会スタッフに感謝いたします。

また、2025年度の開催に向けて審判委員会としての関わりに課題も見つかりましたので大会成功に向けて改善していきます。



審判員の育成と強化

フィットネス研修会 2024年6月2日 岩見沢市東山陸上競技場

(公財)北海道サッカー協会審判委員会強化部の岡田インストラクターにお願いして空知地区所属審判員のフィットネス研修会を開催いたしました。研修会には強化指定審判員の細谷さん(札幌)にも参加いただきみんなで“楽しく走る、”と言った雰囲気のもとフィットネス試験の内容に沿った形で行われました。



女子審判員フィットネス講習会 2024年6月2日 岩見沢市生涯学習センター

フィットネス研修会を終えた女子審判員は会場を移し講習会に参加して審判員にとって走ることの大切さと、それに向けての準備について学ぶ機会となりました。



フィットネス研修会 2024年12月15日 トレリハ (札幌市手稲区)

北海道の多くのトップレフェリーをサポートされている
トレーナーにフィットネスに関してご指導いただきました

綿谷美沙子トレーナー

株式会社トレリハ代表取締役
日本体育協会公認トレーナー
理学療法士



実技研修会



2024年4月28日
恵庭市文教大学附属高等学校



2024年5月5日
岩見沢市岡山SF



2024年6月22日
岩見沢市岡山SF

サッカー2級審判員 認定試験に向けての 実技研修会

2024年5月26日他複数回
岩見沢市岡山SFなど



委員会スタッフの強化

インストラクターの強化と近隣地区とのネットワーク拡大

多くの方にご協力をいただきインストラクターのスキルアップと近隣地区とのネットワーク拡大を目指し
交流機会を増やしました



審判インストラクター研修会参加（第48回全日本U-12サッカー選手権大会）

指導者部の皆様をはじめ、地区や職場など多くの方からのご協力を頂き鹿児島で開催されました全日本U12選手権に参加することができました。

ユース審判員との関わり方、指導の方法。どこをとっても勉強となるものばかりで大変有意義な経験を積むことができました。

この経験を今後の活動にどう活かしていくか、地区へどう還元していくかが大切だと感じています。



サッカー2級審判員の誕生

2024年サッカー2級審判員認定試験に

高橋亮平氏が合格されました。

岩見沢市立東光中学校教諭（空知地区サッカー協会3種委員長）

3種委員長の高橋先生がサッカー2級審判員認定試験に
チャレンジされ炎天下の中で行われたフィジカル研修・
実技研修に参加いただき、学科・走力・実技と
全てにおいて素晴らしい成績で合格されました。

今後、審判員としても地区の、そして北海道のサッカーを
支えていただけたらと考えております。



委員会活動の情報発信（審判委員会News letter）

空知地区登録審判員・審判委員会の活動状況発信

地区が躍動している姿を情報発信し、
審判員個々のモチベーションアップにつなげる。

1. 空知地区登録審判員の活動状況についての発信
2. 審判委員会からの各講習会についてなどの情報発信
3. サッカー関係者以外にも審判員の活動を発信
4. **ユース審判員発掘へのアプローチ**



No.
24

The sky's the limit.

全国大会参加報告
～高円宮杯妃杯JFA第28回全日本U-15女子サッカー選手権大会～
12月9日・10日に栃木県にて開催された「高円宮杯妃杯JFA第28回全日本U-15女子サッカー選手権大会」の1回戦および2回戦に当地区から土屋審判員が参加しました。
土屋審判員より大会参加報告が届きましたので、お伝えします。

【研修会テーマ】 『距離感』

【担当試合】

1回戦 FCみやぎvs北陸大学フィオーレ 主審
2回戦 北陸大学フィオーレ
vs神村学園中等部女子サッカー部 主審



【試合を担当して】

- ・審判団の打ち合わせの時点でタッチジャッジについて丁寧に行いたいとの旨を伝えていたため、スムーズに進行することが出来ていた。
- ・ペナルティエリア内でのファウルの事象の際、結果的に笛を吹きPKにしたがタイミングが少し遅い印象があった。明らかなトリップが起きたことは間違いなくPKの判断としては適切であるが、ペナルティエリア内というアドバンテージがほぼない場所ではすぐにファウルの笛を使ったほうが良い。
- ・試合全体としては、事象を近くで見ようとするし意思は伝わったが、動き出しのタイミングについて予測を踏まえて行う事でワントempoのズレを軽減できるとのアドバイスをいただいた。
- ・試合の展開ごとに体の向きを変え、しっかりと見ようとしていることがよく映っていた印象があった。ゴールエリア内で選手同士が一箇所に集中する場面が起きた。そうした際には一番危険な状況であるキーパーの安全を最優先にした判断を行わなければならない。

【振り返り】

今回の大会は自身の今まで経験してきたことを最大限に活かしてのレフェリングが求められるような試合でした。何が起きるのかを予測しながらポジションを作っていかなければならないことが多く求められたのではないかと感じます。その中で今回の大会を通して意識してテーマにしていた「距離感」についてはINSの方々にもあげて頂いたことは自身にとって大きな収穫であったと感じます。

全国各地から様々な審判の方と初めてではありましたが、そうした中で自分がどう試合を進めていきたいか伝えることはとても大切なことだと改めて気づくことができました。また多くの仲間にも出会うことができたのはとても嬉しいことでした。

最後に今回全国大会というとても大きな試合に審判員として参加させていただきありがとうございます。全国という大きな地で審判ができたことはこれからの審判活動に大きなプラスになっていくと感じることができました。この経験を今後につなげていけるよう日々のトレーニングを始め、私生活の場面でも活かしていきたいと思えます。常に周りの方々への感謝を忘れず、努力していきます。

- Referee Development Partner -

GOLD



BRONZE



空知の為に人の為に汗を流せる人材育成を進めていくことを目指します。
皆様のご協力をいただきますよう宜しくお願い致します。